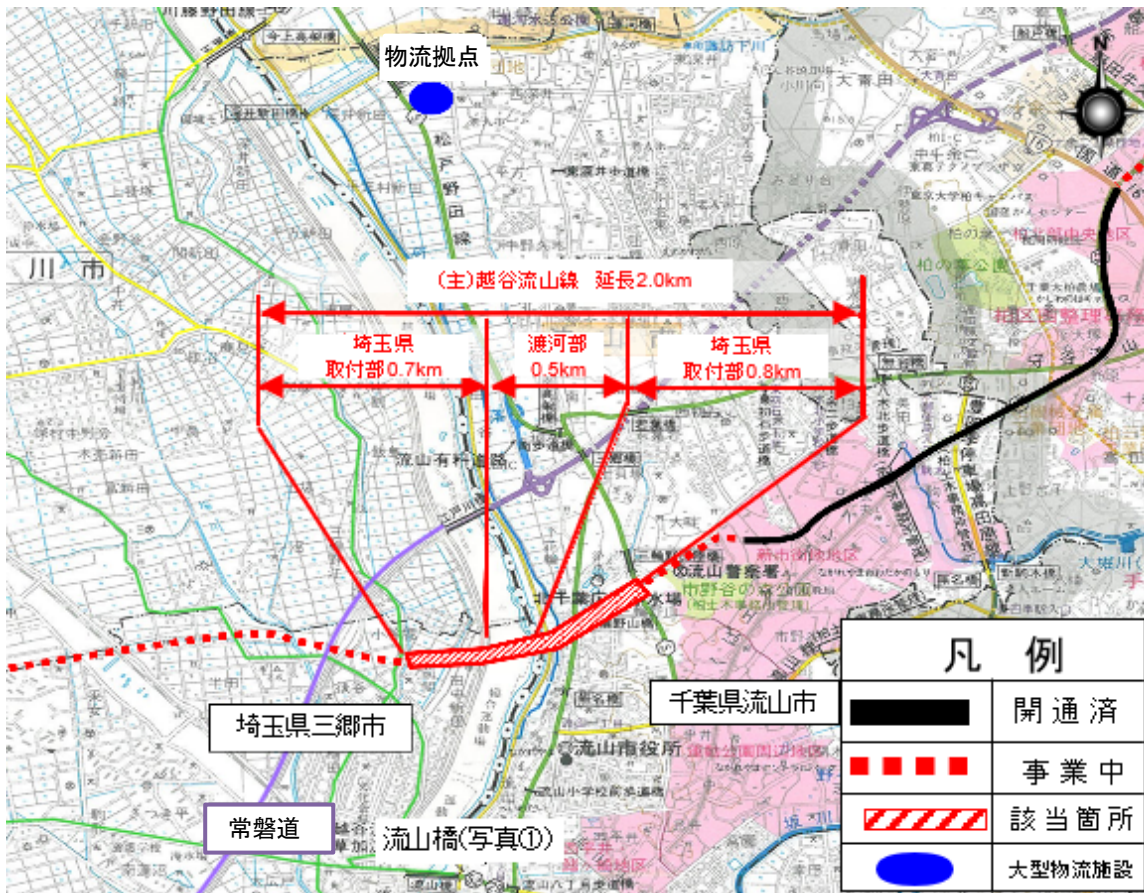


再評価結果（令和2年度事業継続箇所）

担当課：道路局 環境安全・防災課
担当課長名：渡辺 学

事業名	都府県境道路 主要地方道 <small>こしがやながれやま</small> 越谷流山線（仮称） <small>みさと ながれやま</small> 三郷流山橋		事業区分	地方道	事業主体	埼玉県 千葉県
起終点	自：埼玉県 <small>みさと しぜんま</small> 三郷市前間 至：千葉県 <small>ながれやまし みわのやま</small> 流山市三輪野山				延長	2.0 km
事業概要						
<p>本事業は、（仮称）三郷流山橋、埼玉県側取付部及び千葉県側取付部を整備し、宅地開発の進む流山市内のつくばエクスプレス沿線地域と、常磐自動車道三郷料金三郷料金所S I Cを結ぶことによりつくばエクスプレス沿線開発に伴う幹線道路ネットワークの強化及び慢性的な渋滞をきたしている流山橋の交通の分散化に寄与するバイパスを整備するものである。</p>						
H25年度事業化		H17年度都市計画決定		H25年度用地着手		H30年度工事着手
全体事業費		約170億円		事業進捗率		約44% 供用済延長 — km
計画交通量		14,700/日				
費用対効果 分析結果	B/C	総費用 (残事業)/(事業全体) 95/162 億円 事業費：85/152 億円 維持管理費：10/10 億円	総便益 (残事業)/(事業全体) 615/615 億円 走行時間短縮便益：504/504 億円 走行経費減少便益：96/96 億円 交通事故減少便益：15/15 億円	基準年 令和元年		
	(事業全体)					
	(残事業)	6.5				
感度分析の結果						
(事業全体) 交通量		: B/C=3.6~4.0 (交通量 ±10%)		(残事業) 交通量 : B/C=6.1~6.8 (交通量 ±10%)		
事業費		: B/C=3.6~4.0 (事業費 ±10%)		事業費 : B/C=6.5~6.7 (事業費 ±10%)		
事業期間		: B/C=3.5~4.2 (事業期間 ±20%)		事業期間 : B/C=5.9~7.1 (事業期間 ±25%)		
事業の効果等						
① 流山橋の混雑緩和						
・流山橋の交通の一部が（仮称）三郷流山橋に転換し、流山橋の混雑緩和が期待される。						
② 地域の連携強化						
・新三郷らシティ地区から流山新市街地地区への移動時間短縮による地域の連携強化が期待される。						
関係する地方公共団体等の意見						
・江戸川新橋建設促進協議会から令和5年度早期開通の要望を受けている。						
・流山市から計画どおりの供用の実現を要望されている。						
事業評価監視委員会の意見						
事業継続を妥当と認める						
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等						
特になし						
事業の進捗状況、残事業の内容等						
用地取得率約99%、事業進捗率約44%						
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等						
用地の取得が概ね完了していることから、令和2年度は橋梁下部工事及び上部工事を推進していく。						
施設の構造や工法の変更等						
橋台位置を見直し、補強土壁や地盤改良を不要とすることにより工事コストの縮減を図る。						
対応方針		事業継続				
対応方針決定の理由						
事業の必要性、重要性は変化なく、費用対効果の投資効果も確保されているため。						

事業概要図



※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。
 ※ 総費用及び総便益の値は、表示桁数の関係で内訳の合計と一致しないことがある。